



薫 風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.25 令和7年3月7日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

6年生を送る会

2月28日（金）に、本校体育館にて「6年生を送る会」を行いました。今年度は、保護者の皆様にも参観していただき、会場全体が温かい思いやりに包まれた感動的な会となりました。この「6年生を送る会」は、卒業していく6年生に感謝の気持ちを伝えることはもちろんのこと、在校生の子供たちが、1年間の自分自身の成長を実感していく場でもあります。1年生から5年生までの子供たちは、6年生に感謝の気持ちを伝えようと、限られた時間、限られた人数の中で、自分たちの持ち味を活かしながら、一生懸命に準備をして発表しました。6年生は、明神小学校への想い、下級生への想い、お世話になった先生たちへの想いを込めた心温まる発表を披露してくれました。

<児童の感想>

- ・ぼくたちの劇で6年生が泣いたり、心にドーンときてくれたりして大成功だと思いました。6年生が卒業してしまうのはさみしいです。6年生が大好きです。
- ・6年生を送る会では、練習を頑張って、自分たちで考えた発表を全校のみんなや6年生に楽しんでもらえて嬉しかったです。6年生が、あともうちょっとで卒業してしまうのは悲しいけれど、このような伝統を自分たちが6年生になっても受け継いで、より良い明神小学校にしたいなと思いました。
- ・6年生のためにたくさん動いて、6年生のために発表やアナウンスを頑張りました。6年生が、たくさん笑ってくれて、感動してくれて、とっても嬉しかったです。疲れたけれど、私もとっても楽しかったです。
- ・6年生の発表を見て、やっぱり6年生は、いつもかっこよくて、憧れの存在だなと思いました。そして、とてもおもしろかったです。私も、みんなを笑顔にできる6年生になりたいです。

【6年生】

- ・全学年、見たり、聞いたり、参加したりして本当に楽しかったし、おもしろかったです。みんな6年生のために、一生懸命頑張って、あきらめなくて、全力でやってくれたことが伝わりました。最後の6年生を送る会で、全校のみんなとの思い出ができました。
- ・全学年の発表を見て、聞いて、思ったことは、どの学年の発表からも、すごく感謝の気持ちが伝わってきたということです。だから、自分も中学生になっても頑張らないといけないという気持ちができました。また、僕たち6年生の発表は、練習と本番を比べたら全く出来が違ったと思います。なぜなら、本番には練習より恩返しの気持ちが強かったからです。この気持ちがあったから、保護者や各学年のみんなや先生方が感動してくれたのだと思います。卒業式では、悔いなく、いい思い出になるような卒業式にしたいです。



下級生の想いを、6年生がしっかりと受け止め、お互いが「感謝」と「リスペクト」の気持ちで包まれた素晴らしい行事となりました。